令和6年度(2024年度)

自己点検・評価報告書

令和6年(2024年)4月 1日から 令和7年(2025年)3月31日まで

令和7年(2025年)5月14日実施

学校法人吉田学園 専門学校北海道福祉·保育大学校

1. 学校の教育目標

1)教育理念

本校の教育理念は、「専門性と人間性の育成」です。

福祉をとりまく社会は大きく変化しています。このような社会に十分に対応できる高度な専門 知識や技術、高い倫理観や思いやりのある幅広い人間性を兼ね備えた専門職の育成に努めま す。

2)教育目的

- ア 専門職に必要な知識と技術の学びにより、希望する資格の取得を目指します。
- イ 学内の教育と施設実習により、相乗効果を高める指導を行います。
- ウ 就職先企業が求めるニーズを理解し、将来にわたり人間的成長が期待できる人材育成を目指します。

3)教育方針

①ディプロマ・ポリシー (卒業認定・称号授与の方針)

本校では、修業年限以上在籍し、定められた教育課程に従い所定の時数以上の授業科目を修得するとともに、次の素養を身につけた学生に対して卒業を認定します。

「豊かな人間力」

人の尊厳と多様性を認め、自他を大切にするあたたかさを持ち合わせた豊かな人間 力を身につけている。

「専門知識・技術」

常に学び続ける意欲を持ち、高い倫理観と専門知識・技術を用いて現場のニーズに対応できる能力を身につけている。

「実践力」

幅広い視野と想像力・洞察力を用いて的確に状況を把握し、援助実践を行うことができる能力を身につけている。

「コミュニケーション能力」

状況に応じたコミュニケーション方法を用いて相互理解と信頼関係を構築し、さら に人々を繋いでいく能力を身につけている。

「地域・社会への貢献」

社会を構成する一員として人々と連携・協働し、地域社会に主体的に貢献する能力を 身につけている。

②カリキュラム・ポリシー(教育課程編成・実施の方針)

本校では、ディプロマ・ポリシーに基づき、各学科のカリキュラム・ポリシーを次の

通り定めています。単位認定においては各学科のシラバスに明記された評価基準に基づき、学修成果の評価を行います。

<社会福祉学科>

本学科では、3つの福祉士(介護福祉士・社会福祉士・精神保健福祉士)養成課程の 学修内容を統合した福祉人材の育成をめざして、教育課程を編成・実施する。

- 1.1年次では、「人」と「生活」の具体的理解を目的として、地域に暮らす人々との交流を通して生活の実際を知り、福祉専門職の土台となる幅広い視野と柔軟な思考、多様性を認める姿勢を養う。そのため、介護の知識・技術、ソーシャルワークの基礎に関する科目を配置する。
- 2.2 年次では、個別の状況をとらえるケアの視点から、人や生活を他者や社会との関係からとらえるソーシャルワークの視点へと視野を拡大する。そのため、現代の福祉問題を理解し、社会福祉の価値・理念に基づいて人権や尊厳を重視した支援を習得する専門知識・技術に関する科目を配置する。
- 3.3 年次では、2 年次までの学修をもとにソーシャルワーク実践や多職種・地域との連携を体験的に学び、それらを評価・検討する過程を通して実践力を醸成する。そのため、当事者の意思を尊重し共生をめざす具体的手法や研究的方法を学ぶためのソーシャルワークの専門科目を配置する。
- 4.4 年次では、これまでの学修や自己の省察を踏まえてソーシャルワークを体得し、 福祉専門職のアイデンティティの土台を形成する。そのため、実践や今日の福祉課題 を研究的に考察するための科目、および、国家資格取得と自己の能力を発揮できる就 職を実現するキャリア形成のための科目を配置する。
- 5. 社会福祉学科では、本校の教育理念「専門性と人間性の育成」を実現するため、上記の方針に基づき、学生の学修を丁寧に支え、特に各年次における実習科目の履修を通して、学生の福祉専門職としての自覚と福祉実践の意義に対する信用を醸成することをめざす。

<介護福祉学科>

本学科では、高い倫理観と豊かな人間性を保持し、複雑多様化した介護ニーズに対応できる高度な知識・技術を兼ね備えた介護福祉士の育成をめざして、教育課程を編成・実施する。

- 1.1年次では、地域における人々の暮らしを知ることを通して、多様性を学び、生活を支える介護実践の魅力を実感することをめざす。また、専門性に基づく実践のための介護の技術・知識、福祉の基礎に関する講義及び実習科目を配置する。
- 2.2 年次では、1 年次の学修をふまえて介護福祉の本質と目的を深く理解し、多職種連携や社会資源を活用して状況に応じた介護実践を行うことをめざす。さらに、自らの実践を評価・研究することで実践力・専門性を養うための専門科目を配置する。
- 3. 介護福祉学科では、人とのかかわりを大切にし、豊かな人間性やグローバルな感性

を養うことを目的とした、実践型授業や姉妹校との連携授業を設定する。また、国家 資格取得に向けた取り組みを行い、自信をもって社会で活躍できるように丁寧な教 育を行う。

<保育未来学科>

本学科では、「すべての子どもの支えになれる保育者」の育成をめざして、教育課程 を編成・実施する。

- 1. 1年次では、保育や福祉の本質・目的を知り、子どもの成長・発達また教育についての全般的基礎知識・技術を学ぶ。そのため、多様な価値観や豊かな感性の醸成、協働する力を養う体験型授業などの基礎科目を配置する。また、連携授業やボランティア活動を通し、実践力の土台作りをする。
- 2.2 年次では、1 年次に経験した感動体験を土台とし、主体性を発揮して課題発見したことを解決する力や状況把握や発信する力、また応用力・実践力を養い、多様な人々を対象とした援助方法を習得できるよう、専門科目を配置する。
- 3. 保育未来学科では、教育理念を展開すべく、領域「本質」「対象」「内容」「方法」の他、「本校特別科目」としてタッチレッスンや選択科目を設定する。すべての領域において体験することを重視し、各領域における授業科目間連携を保ち、段階的な実践力を養うことをめざす。

③アドミッション・ポリシー (入学者受入の方針)

本校では、教育理念に基づき、学校としてのアドミッション・ポリシーを次の通り定めています。

- 1. 福祉・保育の分野に興味・関心を持っている人
- 2. 夢の実現に向け、向上心をもって進もうとしている人
- 3. 他者の心を理解しようと努めている人
- 4. コミュニケーションの大切さを理解している人
- 5. 挨拶や接遇を大切にしようと努めている人

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

- 1. 本校の教育方針に則って、保育未来学科の教育課程につき2年後を見据えて検討する。
- 2. 社会福祉士養成教育における実習科目の評価基準の明確化を図る。
- 3. 国家試験合格に向けて教員一丸となって取り組み、介護福祉学科および社会福祉学科ともに全員合格をめざす。
- 4. 昨年度に引き続き、卒業前に卒業生全員の就職内定実現をめざす。
- 5. 学生受入募集担当者との連携を強化し、学校全体で学生募集にあたり入学者を確保する。

3. 評価項目の達成及び取組状況

1	1 教育理念•目標				適切・4、 ほぼ適切 ・・3、 やや不適 切・・2、不 適切・・1	エビデンス例		
1	1	中項目	理念・目的・育成人材像(教育理念(建党されているか。職業教育機関として専修 等が盛り込まれているか)					
1	1	1	学校の理念・目的・育成人材像は定め られているか(専門分野の特性が明 確になっているか)	Α	4	学則、その他教育上の目的を 定めた規程、HP、学生便覧		
1	1	2	学生・保証人等(父母等)に対して教 育理念等を明文化し、周知しているか	Α	4	学校・学科(理念・目的)を紹介 するパンフ、HP、学生便覧 保護者ガイダンス資料		
1	1	3	教職員に対して教育理念等を明文化 し、周知徹底を図っているか	В	4	学園理念、教職員七訓、学生 便覧、HP、学園目標、学校目標		
1	1	4	学外の方に対して教育理念等を明文 化し、公表しているか	В	4	HP、パンフレット、募集要項		
1	2	中						
1	2	1	各学科の教育目標、育成人材像は、 学科等に対応する業界のニーズに向 けて方向づけられているか(コース修 了後に、学習者がそのコンピテンスの レベルを必要とする目的や状況が明 確にされているか)	Α	4	HP、学生便覧、学習要項、教育 課程編成委員会議事録 実習要項		
1	2	2	社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか(学校の将来構想を描くために、業界の動向やニーズを調査しているか)	Α	4	ニーズ調査アンケート、教育課程編成委員会議事録学校関係者評価委員会議事録、HP関係保育園園長へのインタビュー結果		

			学校における職業教育の特色は明確	_	4	学生便覧、HP、シラバス、学則
'	2	3	になっているか	A	4	別表2

1-1: 理念・目的・育成人材像については HP・パンフレットで公表している。学生に対しては入 学前にはオープンキャンパス内で、入学時にはオリエンテーションにて学校の方針を伝える場 を設けている。保護者へは入学時に保護者ガイダンスを実施し、参加出来なかった保護者へは書 面配付を行い、確実に伝達している。

1-2:学校関係者評価委員会及び教育課程編成委員会を実施し、社会や関連業界のニーズについて把握するとともに学会や各業界実施の研修会などに積極的に参加することで情報収集している。

②今後の改善方策

2	学	校選中	運営	カテゴリー	適切・4、 ほぼ適切 ・・3、 やや不適 切・2、不 適切・1	エビデンス例		
2	1	項目	運営方針(運営方針は教育理念等に沿	った	ものになっ	ているか)		
2	1	1	教育方針や教育目的等に沿った運営 方針が策定されているか	Α	4	学校運営方針を示す資料、理 事会議事録、管理運営に関す る方針を学内で共有した資料		
2	1	2	運営方針を教職員に周知しているか、 また必要に応じてその理解の状況を 確認しているか	В	4	学校計画書、運営方針発表会 議事録、寄附行為、その他教学 運営等の教職、協働の取組事 例の資料 運営会議・学科会議・職員会議 議事録、吉田学園教育基軸		
2	2	中項目	事業計画(事業計画を作成し、執行しているか)					
2	2	1	運営方針に沿った事業計画を策定し 共有しているか	Α	4	事業計画書、理事会・評議員会 議事録、事業計画書を共有した 証拠		
2	2	2	学校の年間スケジュールはあるか	Α	4	年間行事予定表、学則等(授業時間)、外部実習の履修指導等のガイダンス資料、実習要項		
2	3	中項目	運営組織(運営組織や意思決定機関は効率的なものになっているか)					
2	3	1	寄附行為、理事会会議規則等(法人)、学校の運営規程等が整備され、 それらに従って理事会・評議員会(法人)、学校の運営会議等が開催されているか	Α	4	理事会会議規則、学校の運営 規程、理事会・評議員会の議事 録、理事・評議員会名簿、学 校・学科・学年単位の会議議事 録等		

2	3	2	運営組織や意思決定機能は、規則等 において明確化されているか、有効に 機能しているか	Α	4	組織規程、決裁権限規程、稟議規程、分掌表			
2	3	3	組織機能図があるか	Α	4	学校の組織図、校務、分掌表			
2	3	4	運営会議(教職員会議·教員会議等) が定期的に開催されているか	В	4	年間行事予定表、教職員会議 議事録、教員会議等の規程			
2	3	21	出退勤管理簿があるか	Α	4	出勤簿、勤務予定表、就業規 則			
2	3	22	教職員の健康診断がされているか	Α	4	健康診断の案内、健康診断実 施記録、就業規則、特定健康 診断結果一覧			
2	3	41	施設設備の保守・管理が定期的に行 われているか	Α	4	施設設備保守・管理点検表			
2	4	中項目	教職員の評価・育成(教員及び職員の能力評価・能力向上に向けた取組みを行っているか)						
2	4	1	資格・要件を備えた教員を確保しているか	Α	4	資格・要件等採用基準、学校が 求める教員像・教員の役割・教 育責任の所在に関する考え方 を共有した資料、教職員名簿、 実務経験者一覧、教員資格認 定書			
2	4	2	現に教員数が充足していない場合、 採用活動を行っているか、または、教 員資格等取得に向けた教育・指導を 行っているか	Α	4	HP、求人申込書、求人、広告の 記録(求人サイト)、教育訓練の 記録、授業科目と担当教員の 適合性を判断する制度・判断し た実例を示す資料、研修計画、 面談・指導記録			
2	4	3	授業評価の実施・評価体制はあるか	Α	4	実施体制組織図、授業評価の 帳票、フィードバック記録、授業 アンケート			
2	4	4	教員の組織体制を整備しているか	А	4	講師会議事録、教員組織図、 教員組織の適切性を検証した ことを示す各種委員会、改善・ 向上に向けた取組みが分かる 資料、全体教務会議資料			

2	4	21	職員の能力開発のための研修等が行われているか	Α	4	研修報告書、SD・FD に対する 学校の考え方、実施体制、実施 状況が分かる資料 新入教員研修会資料、教員研 修会資料		
2	4	22	関連分野における先端的な知識・技能等を修得するための研修や教員の 指導力育成等資質向上のための取組 みが行われているか(研修等の効果 を評価し、文書により記録しているか)	Α	4	研修報告書、授業科目と担当 教員の適合性を判断する制度・ 判断した実例を示す資料、FD・ SDに対する考え方、実施体 制・実施状況が分かる資料		
2	4	23	教育の成果(学修結果)に基づく教員 面接を実施しているか	В	4	教員・講師面談記録、講師交流 会資料、目標設定シート		
2	4	24	[職業実践専門課程]専攻分野に係る 関連分野の企業・団体等と連携し、実 務に関する研修や指導力の修得・向 上のための研修等を教員の業務経験 や能力、担当する授業や業務に応じ て組織的・計画的に受講させているか	В	4	教員の研修計画・研修報告書 職業実践専門課程に係る研修 受講証明書		
2	4	25	教員に対して、割り当てられた職務及 び責任、学習サービスの評価結果、 本人の専門能力開発のニーズに対す る見解を考慮に入れて、専門能力開 発の計画を作成しているか(教職員研 修計画の作成)	В	4	教員・講師の研修計画書		
2	4	41	教育内容の改善を図るため、教職員 と非常勤講師等との定期的な情報交 換を行っているか	В	3	会議議事録、報告書、教務日 誌、教員組織の適切性を検証し たことを示す各種委員会、改 善・向上に向けた取組みが分 かる資料		
2	5	中項目	通 人事・給与制度(人事・給与に関する制度を確立しているか)					
2	5	1	人事に関する制度を整備しているか	Α	4	就業規則、人事評価規程		
2	5	2	給与に関する制度を整備しているか	Α	4	給与規程、退職給与規程、旅 費規程		

2	5	3	昇給・昇格制度は文書化されているか	В	4	人事評価規程、昇進昇格規程、給与規程、昇任に関して定めた規程
2	5	4	採用制度は文書化されているか	В	4	教職員採用規程
2	6	中項目	情報システム(情報システム化等による業務の効率化が図られているか)			
2	6	1	情報システム化等による業務の効率 化が図られているか(情報システム 化に取組み、業務の効率化を図って いるか)	Α	4	導入されている情報システムの 概要を示す資料、円滑な情報シ ステムの運営に係る組織体制 を示す資料・情報システム化に 伴う教育会議の効率化や効果 を示す資料

2-1:年度初めに運営会議や職員会議を通して、本校の教育目的と学園スローガンを照らし合わせた教育方針を策定し共有している。

2-2: 法人の事業計画に基づき本校の部署目標及び行動計画を策定し、全教員で共有している。 また、本校の年間事業予定を踏まえ各学科の事業予定を策定し、学生に周知して運営している。

2-3:組織や意思決定機関については定められた規定により効率的に運営されている。

2-3-4:管理職での運営会議を定例で実施して学科会議及び職員会議で全体への周知を行っている。

2-3-21:出退勤管理では就業規則に則り勤務予定表を作成し管理を行っている。

2-3-22:年1回の健康診断を実施している。

2-4:指定規則の要件に沿った教員・職員を確保して学校運営を行っている。

2-4-3:授業評価アンケートを行い、結果について各教員へのフィードバックを実施している。

2-4-21:新入教員には別途研修会を実施するとともに、全教職員対象の教員研修会を毎年実施している。その他、各学科に関わる研修会へは積極的に参加している。

2-4-41: 非常勤講師とは授業実施毎に必要に応じて意見交換を実施しているが、口頭確認にとどまっている。

2-5:人事・給与制度については評価制度含め全て規定に明記されている。

2-6:ICT 等の活用により、会議資料を配布せずデータ閲覧で行っている。

②今後の改善方策

2-4-41:情報交換の際に得た提案などは記録を行い、学科会議で議案として確実に検討共有される仕組みを構築する。

3	3 教育活動 中 目標の設定(教育理念、教育目的およ ているか)				適切・4、 ほぼ適切 ・・3、 やや不適 切・2、不 適切・1 式人材像に	エビデンス例 二沿った教育課程を編成・実施し
3	1	1	教育目的および育成人材像に基づき 教育課程の編成・実施方針(カリキュ ラムポリシー)を明示し、また学校構成 員(教職員および学生等)に周知し、 社会に公表されているか。また定期的 に検証を行っているか	Α	4	カリキュラムポリシー、HP、学 生便覧、CP検証時の議事録、 教育課程編成委員会議事録
3	1	2	教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた教育機関としての修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	Α	4	カリキュラムマップ、カリキュラム、教育課程の体系性を示す学協会等が定めるモデルカリキュラムとの関係性を示した資料シラバス
3	1	3	教育目的および育成人材像に基づき ディプロマポリシーを明示し、また学校 構成員(教職員および学生等)に周知 し、社会に公表されているか。また定 期的に検証を行っているか	В	4	ディプロマポリシー、HP、学生 便覧、DP検証時の議事録、学 校関係者評価委員会議事録
3	2	中項目	教育方法・評価等(各学科の教育目標、 成などの取組がなされているか)	育厄	找人材像に	向けて、体系的なカリキュラム作
3	2	1	教育理念・到達目標に沿って学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	Α	4	カリキュラムマップ、カリキュラム、履修要項、シラバス、学協会等が定めるモデルカリキュラムとの関係性を示した資料
3	2	2	講義および実習に関するシラバスは 作成されているか	Α	4	シラバス
3	2	3	各科目の一コマの授業について、そ の授業シラバスが作成されているか	В	4	コマシラバス レジュメ

3	2	4	シラバスあるいは講義要項(作成されていればコマシラバス)などが事前に学生に示され(あるいはホームページなどで公開されて)、授業で有効活用されているか	В	4	HP、シラバス、講義概要、学生 便覧、授業報告書
3	2	21	適切な評価体制を有し、授業評価が 実施されているか(教育内容およびそ の評価方法、評価項目、手段、スケジュールは適切か)	Α	4	評価マニュアル、授業評価報告 書、成績評価基準に関する教 員間の申し合わせやその運用 事実が分かる資料 教務内規、シラバス、成績記入 表、実習評価票
3	2	22	質保証を目的とした授業や学習の定期的な観察を実施しているか	В	4	授業評価チェックシート、授業 観察報告書、学習実態の把握 とそれに基づく改善・向上の取 組みを示す資料、教育の運用 にあたる各種委員会の活動が 分かる資料 講義内容記録簿、科目別出席 簿、公開授業アンケート
3	2	23	学生によるアンケート等で、適切に授業評価を実施しているか(学習の目的を満たしているか、満足度を含めて定期的に確認しているか)	В	4	授業評価アンケート、卒業時アンケート、学習実態の把握とそれに基づく改善・向上の取組みを示す資料、教育の運用にあたる各種委員会等の活動が分かる資料
3	2	24	評価結果を教員にフィードバックする など、その結果を授業改善に役立てて いるか	В	4	フィードバック記録、シラバス、 改善活動の記録、授業評価アンケート、学習実態の把握とそれに基づく改善・向上の取組みを示す資料、教育の運用にあたる各種委員会の活動が分かる資料
3	2	41	カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか(カリキュラム作成委員会等)	В	4	カリキュラム作成委員会組織図、学習実態の把握とそれに基づく改善・向上の取組みを示す資料、教育の運用にあたる

3	2	42	カリキュラム作成メンバーの中に業界 関係者などの外部関係者を入れてい るかまたはその意見を取り入れている か	В	4	各種委員会等の活動が分かる 資料 プロジェクト会議録、学科会議 録 教育課程編成委員会議事録、 カリキュラム検討会議議事録
3	2	81	キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリュキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	Α	4	シラバス
3	2	82	関連分野における実践的な職業教育 (産学連携によるインターンシップ、実 技・実習等)が体系的に位置づけら れ、その内容、評価法などが事前に決 められているか	В	4	カリキュラムマップ・実務家教員シラバス・企業との協定書、連携実務実習に係る実施計画・実施協定書および実施に係る責任体制が分かる資料実習要項、実習承諾書、実習評価票、協定書、教員事前訪問報告書、訪問指導計画書
3	2	83	[職業実践専門課程]専攻分野に係る 関連分野の企業・団体等と連携し、演 習・実習等を行っているか	В	4	教育課程編成委員会議事録、 カリキュラム検討会議議事録、 実習報告書、連携実務実習に 係る実施計画・実施協定書およ び実施に係る責任体制が分か る資料 シラバス、依頼文書、実習先一 覧、実習要項
3	2	84	企業・施設等での職場実習(インター ンシップ含む)があるか	В	4	実習承諾書、講義概要、企業 実習報告書、連携実務実習に 係る実施計画・実施協定書およ び実施に係る責任体制が分か る資料、シラバス
3	中 成績評価・単位認定等(成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか) 目					

3	3	1	成績評価・単位認定、進級・卒業判定 の基準は明確になっているか	А	4	成績評価に関する規程、授業 科目履修規程、学生便覧、進 級基準・卒業基準、判定会議議 事録、教務内規		
3	3	2	学生や保証人等(父母等)に対し、成 績評価・単位認定の基準、進級要件、 卒業要件はきちんと提示されているか	В	4	成績評価に関する規程、授業 科目履修規程、学生便覧、進 級基準・卒業基準、判定会議議 事録、シラバス、保護者ガイダ ンス資料		
3	3	3	各規定に基づいて適切に成績評価・ 単位認定、進級・卒業判定を行ってい るか	В	4	成績評価規程、シラバス、判定 会議議事録、科目ごとの成績 表(成績記入表)、教務内規		
3	3	4	[職業実践専門課程]専攻分野に係る 関連分野の企業・団体等と連携し、学 生の学修成果の評価を行っているか	В	4	成績評価規程、シラバス、判定 会議議事録、連携企業等との 会議録、連携科目の成績表 訪問指導記録		
3	4	中項目	資格・免許取得の指導体制(資格・免許取得のための指導体制があるか)					
3	4	1	資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか(発行する修了証明書の種類及び内容)	Α	4	目標資格・検定試験一覧、シラバス、講師概要、成績証明書、 卒業証明書、カリキュラムマップ、学習計画、試験対策計画 指定科目履修証明書		
3	5	中項目	キャリア教育等(基礎的・汎用的能力(① 人間関係形成・社会形成能力、② 自己理解・自己管理能力、③ 課題対応能力、④ キャリアプランニング能力)を身につけるための取組が実施されているか)					
3	5	1	キャリア教育を行ない、学生の社会 的・職業的自立に向け必要な基盤とな る能力や態度を育成しキャリア発達を 促しているか	В	4	企業との協定書等、シラバス、 キャリア教育に関する教育計画 書、吉田学園教育基軸		
3	5	21	高校・高等専修学校等との連携による キャリア教育・職業教育の取組が行わ れているか。	Α	4	シラバス、講義概要、連携授業計画書・報告書		

3-1: 学生便覧に教育目的、教育理念、教育目標、ディプロマポリシー、カリキュラムポリシー、アドミッションポリシー等を明記し、各種専門職養成教育の指定規則に則って教育課程を編成し実施している。

3-2:カリキュラムは教育課程編成委員会を含め業界の状況把握を行い、各学科にて検討し目的から評価基準や方法について明記しており、シラバスを含めLMSで学生へ周知している。また、一定の評価基準に照らして成績判定会議において評価を認定している。

3-2-23: 学生による授業評価アンケートを実施して実態の把握を行っている。

3-2-24: 上記アンケート結果を授業担当へフィードバックを実施して改善を図っている。

3-2-82,83: 実習先と協定書を取り交わし、指定規則に則り適性に実習を実施している。

3-3:成績評定・単位認定等について規定を明確に定め学生・保護者へは入学時のオリエンテーションにより周知している。判定についても基準に則り適性に実施している。

3-4:学科毎に目標資格は明確であり取得に向けての指導体制も構築されている。

3-5:キャリアデザインや特別講義等を通してキャリア教育を行うとともに、複数の高等学校と連携してキャリア教育・職業教育の取組みを実施している。

②今後の改善方策

4	学	修成中項目	文果・教育成果 学修成果(各学科の教育目標、育成人を れているか)	カ テ ゴ リ ー 材像	適切・4、 ほぼ適切 ・・3、 やや不適 切・2、不 適切・1	エビデンス例
4	1	1	コース全体を通して、及びコースの修 了時に、学習者の習熟状況をアセスメ ントしているか	Α	4	修了試験成績一覧、期末試験成績一覧
4	1	2	学生の学修成果の評価に際して、育成する人材像に沿った評価項目を定め、明確な基準で実施されているか(測定する知識、スキル及び能力、測定の基準、アセスメントの方法は明確か)	В	4	成績評価基準、成績評価方法、科目シラバス
4	2	中項目	就職率(就職率の向上が図られているな) \)		
4	2	1	就職率の向上が図られているか(結果を分析し、就職指導・支援の改善を図っているか)	Α	4	就職関連指導シラバス、就職実績報告書
4	2	2	学生の就職に関する目標に対して教 職員に共有されているか	Α	4	事業計画書、会議資料、部署 目標
4	2	3	学生の就職活動に関する記録がなさ れているか	В	4	就職活動報告書、LMS
4	2	4	部外者に向けた就職実績を公表して いるか	Α	4	パンフレット、HP
4	3	中項目	資格・免許の取得率(資格・免許取得率	の向]上が図ら	れているか)
4	3	1	資格取得率の向上が図られているか	Α	4	資格試験結果報告書、資格·検 定試験取得率の履歴

4	3	2	資格・検定・コンペに関する目標を設 定したか	Α	4	目標資格·検定一覧 部署目標		
4	3	3	資格・検定・コンペに関する目標・計画 が教職員に共有されているか	В	4	教職員全体会議資料、部署目標、職員会議録		
4	3	4	資格・検定・コンペ結果に関して検証・ 報告がされたか	В	4	検定(国家)試験結果報告書 学科会議録		
4	3	5	資格・検定・コンペの結果(合格者数・ 合格率)を公表しているか	В	4	パンフレット、HP		
4	4	中項目	社会的評価(卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか)					
4	4	1	卒業生・在校生の社会的な活躍及び 評価を把握しているか(卒業生の就職 後の動向を出来るだけ把握し、卒業 後にも就職その他の支援を行ってい るか)	Α	3	卒業生調査、企業アンケート、 企業等訪問記録、就職担当者 等訪問記録		

4-1:科目評価基準は明記されており履修者へ周知されている。基準に沿った評価を行い、都度成績判定会議にて認定している。

4-2:就職支援を計画的に行い、学内 LMS や学科会議にて就職活動状況を把握している。

4-3: 資格取得率目標を設定し、具体策について検討と共有を行っている。

4-4:卒業生の就職先訪問を行っている学科もあるが口頭報告にとどまっている。

②今後の改善方策

4-4:卒業生の社会的な活躍及び評価を把握するため、卒業生アンケートや企業アンケートの実施について学内で検討する。

5	学	生支	泛援	カテゴリー	適切・4、 ほぼ適切 ・・3、 やや不適 切・・2、不 適切・1	エビデンス例		
5	1	中項目	修学支援(学生に対する修学支援に関する支援組織体制を整備し、学生が学修に専念 し、安定した学生生活を送ることができるように図っているか)					
5	1	1	学生への修学支援を適切に行ってい るか	А	4	学生カルテ、学生指導履歴、個別相談表、修学支援の一環としての奨学金に関する HP		
5	2	中項目	就職等進路(就職・進学指導に関する支援体制は整備され、有効に機能しているか)					
5	2	1	進路・就職に関する支援体制は整備 されているか(またそれはきちんと学 生や保証人等(父母等)に周知されて いるか)	Α	4	学生便覧、オリエンテーション 資料		
5	3	中項目	学生相談(学生相談に関する体制は整	備さ	れているか)		
5	3	1	学生相談に関する体制は整備されて いるか(相談窓口が設置されている か)	Α	4	学生便覧		
5	თ	2	学生の面談・相談記録があるか	В	4	学生面談記録、個別面談シート 学生状況報告書		
5	4	田油中	学生生活(学生に対する経済的な支援 織体制はあるか。生活環境支援体制を					
5	4	1	奨学金制度など、学生の経済的側面 に対する支援体制は整備されている か	А	4	募集要項、奨学金説明会資料		
5	4	21	学生の健康管理を担う組織体制はあ るか(学生の健康診断を実施している	Α	4	健康診断案内、年間行事予定 表、学校医がいることを示す資 料、健康相談窓口の案内		

			か、また健康相談窓口は整備されているか)						
5	4	41	課外活動に対する支援体制は整備さ れているか	Α	4	課外活動(地域活動・部活動 等)の記録、部活動の実績の記 録			
5	4	42	学生の生活環境への支援は行われているか(学生のアパート探しなど、住環境への支援体制はあるか)	Α	4	説明会記録、HP、パンフレット			
5	5	中項目	中途退学への対応(退学率の低減が図られているか)						
5	5	1	退学率の低減が図られているか(受 講登録、出欠状況及び学習者の減少 に関する分析が行われているか)	Α	4	退学防止の取組み記録、退学 状況の分析と対策記録			
5	5	2	退学率の目標を設定しているか	Α	4	事業計画書			
5	5	3	退学率の低減に関する目標・計画が 教職員に共有されているか	В	4	事業計画書、会議資料、部署 目標、職員会議録			
5	5	4	退学者数を公表しているか	В	4	HP、職業実践専門課程 報告 様式			
5	6	中項目	保証人(保護者)との連携(保証人との)	重携(体制を構築	E しているか)			
5	6	1	保証人等(父母等)と適切に連携しているか(保証人等のニーズを把握しているか)	Α	4	保護者面談記録、保護者会報告書、LMS報告、学生状況報告			
5	6	2	保証人等(父母等)との計画的な相談 会・面談を行っているか	В	4	保護者面談記録、保護者会報 告書、保護者ガイダンス資料			
5	7	中項目	卒業生・社会人支援(卒業生の動向を推 育環境を整備しているか)	型握し	っているか。	社会人のニーズを踏まえた教			
5	7	1	卒業生への支援体制を整備しているか(再就職、キャリアアップ等について、相談に乗っているか)	В	4	同窓会会則、就職あっせん記録、受験報告書、HP			
5	7	21	卒業生への卒後教育等の支援体制は あるか(卒業生への講習・研修を行っ ているか)	В	4	パンフレット、HP 国家試験対策案内			

5 7 41 環境が整備されているか A 4 パンフレット、HP	5	5	7	41	社会人学生のニーズを踏まえた教育 環境が整備されているか	Α	4	パンフレット、HP	
環境が整備されているか					環境が整備されているか				

5-1:定期的に担任が個別面談を実施するとともに学生状況は適時学科会議、運営会議にて共有している。奨学金については、担当者を配置してきめ細かく対応している。

5-2:就職支援に必要な手続きなど学生便覧に明記し周知している。

5-3:オンライン健康相談窓口が設置されており、学生へ周知されている。

5-4-1: 奨学金説明会を実施し、学費に関しての相談について担当者を配置している。

5-4-21:健康診断実施のほか、オンライン健康相談窓口を設置している。

5-4-41:ボランティア担当窓口を配置し、学生の課外活動を支援している。

5-4-42:提携により学生会館を保有している。

5-5:学校及び学科にて目標設定を行い、具体的施策を検討して取り組んでいる。

5-6:必要に応じて学生動向について保証人と情報共有するなど連携を図っている。

5-7: 同窓会総会開催のほか、適時卒業生からの相談に応じ個別に対応している。

②今後の改善方策

6	教	育環	¹境	カテゴリー	適切・4、 ほぼ適切・ 3、 やや不適切 ・・2、不適 切・1	エビデンス例		
6	1	中項目	施設・設備等(施設、設備は教育上の必要	要性(に十分対応	できるよう整備されているか)		
6	1	1	施設・設備は、教育上の必要性に十分 対応できるよう整備されているか(講義 室は学生数、時間割にあわせ、無理な く配備されているか)	Α	4	学校設置認可申請書、教室配置 図、時間割、教室配置図、時間 割、専修学校報告書		
6	1	2	学生が利用できる参考図書・関連図書 は備えられているか	Α	4	資産目録、図書		
6	1	3	教育上の必要性に対応した機材・備品 を整備しているか	Α	4	各種設備・教育備品の一覧表及 び点検票、管理体制の組織図		
6	1	21	分煙・禁煙等に関する規定が文書化・ 掲示されているか	В	4	掲示物、学生便覧		
6	1	22	学内の整理・整頓・清掃に関して定期的 に管理・チェックがされているか	В	4	教室清掃チェックリスト、環境整 備チェックリスト		
6	1	41	施設・設備の点検、補修・修繕等は定期的にまたは適宜行っているか	Α	4	施設・設備の点検、補修計画書、 点検・修繕の記録、電気設備点 検記録報告書、建築物環境衛生 管理報告書		
6	2	中項目	学外実習、インターンシップ等(校外の実習、インターンシップ、海外研修等について、十分 な教育体制を整備していますか)					
6	2	1	学内外の実習施設、インターンシップ、 海外研修等について十分な教育体制を 整備しているか	Α	4	学外実習時の実施要綱・マニュ アル(実習要項)、実習先一覧		
6	2	2	実技・実習に先立って、職業倫理や情報の取扱いに関する規程・マニュアル や規則が整備されているか。	В	4	実習指導ガイドライン(実習要項)、		

6	3	中項目	防災・安全管理(防災・安全管理に関する体制を整備しているか。防災訓練等を実施しているか)					
6	3	1	防災に対する組織体制を整備し、適切 に運用しているか	Α	4	危機管理マニュアル、気象警報 による休講等の取り扱いガイドラ イン(学生便覧)		
6	3	2	防災・防犯設備(非常灯・消火器・警備 システム等)が整備・点検されているか	Α	4	消防用設備点検報告書、警備業 務請負契約書		
6	3	21	定期的に防災訓練を実施しているか	Α	4	防災訓練実施要綱、シェイクアウト報告書		
6	3	41	学校における安全管理の整備を行って いるか	В	4	設備管理者の一覧表、各種設備の定期点検表、危機管理マニュアル		

- 6-1: 専修学校設置基準及び各養成施設指定規則に則り適正に整備している。
- 6-2: 学外実習について実習要項を策定・配布し、職業倫理や個人情報の取扱い、規則等につき 事前に実習指導を実施している。
- 6-3:危機管理マニュアルを策定するとともに、防犯カメラの設置により外部侵入について備えている。また、避難訓練、シェイクアウトを実施し有事に備えている。

②今後の改善方策

7	学	生の 中項目)受入れ募集 学生募集活動(学生の受け入れ方針に 者選抜を行っているか。 社会人入学生、留学生、障がい者等、多いるか)	_				
7	1	1	学生募集活動は、適正に行われているか	Α	4	募集活動体制組織図、営業日 報、パンフレット、OC 用説明資 料、募集要項、学校案内、HP		
7	1	2	入学者受け入れ方針(アドミッション・ポリシー)を策定し、学校構成員(教職員および学生等)に周知し、社会に公表しているか	А	4	アドミッションポリシー、募集要項、パンフレット、公式 Web サイト		
7	1	3	学校案内に、育成人材像、特徴、目指 す資格・免許等をわかりやすく紹介し ているか	Α	4	パンフレット、HP		
7	1	4	学生の受け入れ方針に基づき、公正 かつ適切に学生募集を行っているか	Α	4	募集活動体制組織図、営業日 報、学生募集要項、学校案内 (パンフレット)		
7	1	21	入学に関する問い合わせ等に適切に 対応できる体制ができているか	Α	4	校務分掌、HP、組織図		
7	1	22	学校説明会等による情報提供(育成人材像、評価手段及びその基準、目指す資格・検定・コンペ、学費・教材費等の情報)を行っているか	Α	4	OC 配付資料、説明会資料、 HP、募集要項		
7	1	23	入学予定者に対し学習指導·支援等 は行われているか	В	4	入学前教育の資料		
7	2	中項目	入学選考(入学選考は、適正かつ公平な基準に基づき行われているか)					
7	2	1	学校案内等には選抜方法が明示され ているか(入学に必要な学力、スキ	Α	4	募集要項、学校案内		

			ル、資格、職業経験などの、前提となる。						
			る要件が明示されているか)						
			学生の受け入れ方針に基づき、公正			入試基準、選考方法、選考にお			
7	2	2	かつ適切に入学者選抜を行っている	Α	4	ける実施体制、選考結果資料			
			か			いる大心から、然为心不其外			
		毌							
7	3	項	学納金(学納金は妥当なものとなっているか)						
		目							
7	3	1	学納金は妥当なものとなっているか	Α	4	募集要項			
7	3	2	学校案内等に、学費、受験料、学習教	Α	4	パンフレット、募集要項			
	3	2	材の購入費等が明示されているか	А	4 ハンブレット、券耒安県	ハンフレット、夯朱安垻			

①現状:課題

7-1:学校毎に募集担当者を配置して適切に対応している。オープンキャンパス、学校説明会などを開催し、パンフレットに明記された各学科の人材育成像、特徴、目指す資格やアドミッションポリシーについて伝えている。入試についても社会人・高校卒業者入学や留学生入学があり、さらに学び直し支援制度を設けるなど多様な学生の受入れに対応している。

7-2: 入試について募集要項に選抜方法を明記し、公正かつ適切に実施している。

7-3:学納金について社会情勢を含めた検討を行い適正に算出している。募集要項に初年度の教材費を含めた金額を明記している。

②今後の改善方策

8	8 教育の内部質保証システム				適切・4、 ほぼ適切 ・・3、 やや不適 切・2、不 適切・1	エビデンス例			
8	1	中項目	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専 を行なっているか)	関係法令、設置基準等の遵守(法令、専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営 を行なっているか)					
8	1	1	法令、専修学校設置基準等の遵守と 適正な運営がなされているか	Α	4	コンプライアンス研修報告書、 教務日誌、専修学校設置基準 チェック表			
8	1	2	業界や地域社会等に対するコンプライ アンス体制が整備されているか	Α	4	組織図、校務分掌表、内部規定類			
8	1	3	関係法令に基づく管理運営に関する 学内諸規程を整備し適切に運用して いるか	В	4	ハラスメント防止規程、危機管 理規程、ルールブック			
8	2	田油中	個人情報保護(個人情報に関する規程を整備し、個人情報に対する対応を取っているか)						
8	2	1	学校が保有する個人情報保護に関す る対策を実施しているか	Α	4	個人情報保護規程、プライバシ ーポリシー、セキュリティポリシ ー			
8	2	2	個人情報保護規程が文書化されているか	Α	4	個人情報保護規程、個人情報 取扱規程			
8	2	3	個人情報の取扱いについて、教職員 に対し周知し、意識づけができている か	В	4	教員研修会資料、講師交流会 資料(全体教務会議資料)			
8	3	中項目	学校評価(自己評価、学校関係者評価の実施体制を整備しているか)						
8	3	1	学校教育、学校運営について、自己 点検・評価を実施し、さらに課題解決 に取り組んでいるか	Α	4	自己点検·評価報告書、改善計 画、改善報告書			

8	3	2	自己点検・評価報告書にまとめている か (自己点検・評価報告書があるか)	Α	4	自己点検・評価報告書			
8	3	3	自己点検・評価の組織があるか	В	4	自己点検·評価委員会組織図、 校務分掌表			
8	3	21	学校関係者評価の実施体制を整備 し、学校関係者評価を実施し、改善の 取組みを行っているか	В	4	学校関係者評価委員会議事 録、委員会名簿			
8	4	中項目	改革・改善(各学科の教育目標、育成人材像に向けて自己点検・評価活動の実施体制を確立して改革・改善のためのシステムが構築されているか)						
8	4	1	自己点検・評価の必要性を全教職員 に伝える機会を設けたか	Α	4	教職員会議議事録			
8	4	2	卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	Α	4	卒業生就職·離職状況調査報告書、改善計画書 学科会議録			
8	4	3	自己点検・評価の結果に基づき改善計画を策定したか	В	4	改善計画 部署目標			
8	4	4	自己点検・評価の結果に基づき期限 を定めて改善計画に基づいた結果の 検証がされたか	В	4	改善計画 部署目標			
8	4	5	学校関係者評価の結果に基づき改善 計画を策定したか	В	4	改善計画 学校関係者評価会議録			
8	4	6	学校関係者評価の結果に基づき期限 を定めて改善計画に基づいた結果の 検証がされたか	В	4	改善計画部署目標			
8	5	中項目	教育情報の公開(教育活動に関する情報公開を積極的に行っているか)						
8	5	1	教育活動に関する情報公開が適切に なされているか	Α	4	職業実践専門課程別紙様式 4、HP			
8	5	21	自己評価結果を公開しているか	Α	4	自己点検·評価報告書、HP			
8	5	22	学校関係者評価結果を公表している か	В	4	学校関係者評価報告書、HP 学校関係者評価会議録			

8-1: 専修学校設置基準や各養成施設指定規則等を遵守し、規定により適正に運営している。

8-2:個人情報保護規程により適正に対応している。

8-3:自己点検・評価を実施している。学校関係者評価委員会にて報告及び改善策について意見 交換を行い、改善策を検討・実施している。

8-4:自己点検・評価の結果に基づき学校関係者評価委員の意見も踏まえ、学科毎に改善策を検討している。

8-5:教育情報について全て HP 上に公開している。

②今後の改善方策

9	財	務		カテゴリー	適切・4、 ほぼ適切 ・・3、 やや不適 切・2、不 適切・1	エビデンス例	
9	1	中項目	財務基盤(学校の中長期的な財務基盤	は安	! 定している	らといえるか)	
9	1	1	教育活動を安定して遂行するために 必要かつ十分な財政的基盤を確立し ているか	Α	3	財産目録、貸借対照表、資金収支計画書、事業報告書	
9	1	2	年度予算・中期計画が策定されている か	Α	4	全体予算書、中期計画書	
9	2	中項目	予算・収支計画(予算及び収支計画は有効かつ妥当か。予算及び収支計画に基づき、 適正に執行管理を行っているか)				
9	2	1	予算·収支計画は有効かつ妥当なも のとなっているか	Α	3	予算書、理事会議事録、評議 員会議事録	
9	2	2	予算及び計画に基づき適正に執行管 理を行っているか	В	4	収支計算書、予算執行表、月 次予算チェック表	
9	3	中項目	監査(財務について会計監査が適正に	おこフ	なわれてい	るか)	
9	3	1	私立学校法及び寄付行為に基づき適 切に監査を実施し、理事会、評議員会 に報告しているか	Α	4	会計監査報告書	
9	4	中項目	財務情報の公開(私立学校法に基づく)	才務的	情報公開位	*制を整備し、適切に運用してい	
9	4	1	財務情報公開の体制を整備し、適切 に公開しているか	Α	4	財務諸表、HP、財務情報公開 規程	
9	4	2	財務情報の公開について、ホームペ ージに公開するなど積極的に取組ん でいるか	В	4	НР	

9-1-1: 定員充足が目標数に達しなかったため、収支バランスに影響が生じている。学納金に依存した収入構造においては、学生数の変動が財政に与える影響は大きく、固定費に加えて変動費も含めた経常支出全体の見直しが必要である。中長期的な視点での財務の安定性の確保に課題を感じる。

9-2:予算要求や執行内容に対する効果・目的の検証が十分に行われておらず、実績を見直す機会が期末に偏っているため、予算執行の適切性が確認されにくい状況にある。期中の進捗確認や予実管理の仕組みが不十分であり、財務状況の共有や改善に向けた対話が活発に行われている状況ではない。これにより、収支計画の実効性や精度にも課題が残る。

9-3:監査の目的や重要性が教職員全体に浸透されていない。予算執行時の決裁手順や会計処理等について、明文化や説明が不十分・ルールが全職員に徹底されていないなど、運用の一貫性については改善の余地がある。

9-4:財務情報はホームページで公開されており、関係者に対して透明性を担保している。閲覧者の理解を促すために、学校法人会計と企業会計との違いや注釈を添えるなどの配慮も行っており、情報公開の取り組みは適切である。

ただし、公開された情報が職員間で十分に共有されているとは言えず、学校・学園全体としての 財務意識の醸成という観点からは改善の余地もある。今後、学校全体での財務への関心と責任感 を高めていく必要がある。

②今後の改善方策

9-1:学科ごとの定員充足に向けた広報戦略の強化と並行して、収支構造を精査し、固定費・変動費を含めた経常支出の見直しを進める。損益分岐点を意識した収支管理を徹底し、学納金依存からの脱却を視野に、持続可能な財務体制を構築する。

9-2:月次・四半期単位での予算執行状況の点検と報告を制度化し、財務状況の可視化を図る。過去実績に基づいた積算と見積根拠の明確化を通じて、収支計画の精度向上を目指す。 さらに、柔軟な予算修正が可能となるよう、運用フローの整備も進める。

9-3:監査の意義を教職員に周知・共有するため理解を求めたい。

財務管理(物品・金銭など)や決裁手順に関するルールを明文化・周知徹底することで、財 務執行の妥当性と透明性を高める。

9-4: 財務情報の公開内容を職員にも定期的にフィードバックし、教職員が経営状況を理解・ 把握できるようにしたい。財務の透明性を対外的にも校内的にも高めていく。

③特記事項

「中期計画 2025」の最終年度である 2025 年度を迎えるにあたり、2021 年度から 2024 年

度までの財務基盤・収支状況を見直す。内部統制とリスクマネジメントの充実に関して、組織の再構築と職員の意識改革を検証・定着させる節目とする。

10) 社	t会 j	貢献·地域貢献	カテゴリー	適切・4、 ほぼ適切 ・・3、 やや不適 切・2、不 適切・1	エビデンス例	
10	中 社会貢献・地域貢献(学校の教育資源や施設を利用した社会貢献・地域貢献を行って 1 項 目 いるか)						
10	1	1	学校の教育資源や施設を活用した社 会貢献·地域貢献を行っているか	Α	4	年間行事予定表、利用案内、 利用の記録	
10	1	2	地域に対する公開講座·教育訓練(公 共職業訓練等を含む)の受託等を積 極的に実施しているか	Α	4	公共職業訓練等受託契約書、 年間計画表 介護のしごと魅力アップ推進事 業実績書	
10	2	中項目	ボランティア活動(学生のボランティア活動を奨励・支援しているか)				
10	2	1	学生のボランティア活動を奨励し、具 体的な活動支援を行っているか	Α	4	ボランティア活動支援体制に関する資料	

10-1:校舎貸し出しを行っている。また、公共職業訓練の受け入れを積極的に行っている。 10-2:学内にボランティア募集掲示を行い、ボランティア担当窓口を配置して学生のボラン ティア活動を支援している。また、地域貢献意識の向上を目的として地域清掃をプロジェク トとして実施している。

②今後の改善方策

③特記事項

10-1-2:地域に対して介護のしごと普及啓発事業を実施している。

11	11 国際交流(必要に応じて)				適切・4、 ほぼ適切 ・・3、 やや不適 切・2、不 適切・1	エビデンス例	
11	中 留学生の受入れ・海外への留学(留学生の受け入れ、海外への留学における学習支援や生活指導等を適切に対応し、管理体制を整備しているか)						
11	1	1	留学生の受入れ・派遣について戦略 を持って行っているか	Α	4	事業計画書、校務分掌表	
11	1	2	留学生の受入れ・派遣、在籍管理等 において適切な手続き等がとられて いるか	Α	4	入管提出書類一式、学籍、管 理体制組織図、旅行傷害保 険、リスク回避マニュアル	
11	1	3	留学生の学修・生活指導等について 学内に適切な体制が整備されている か	Α	4	留学生活の手引き、組織図	
11	1	4	学習成果が国内外で評価される取組 を行っているか	Α	4	留学生活の手引き、HP、JLP T取得率、資格試験取得率、就 職率、進学率	

11-1: 留学生支援部と連携し、留学生の受け入れ、在留資格管理、修学・生活指導等について対応している。また、JLPT や国家試験に合格に向けて対策を行い就職を支援している。

②今後の改善方策